

# 授業・単元づくり編 「学力向上の取組」

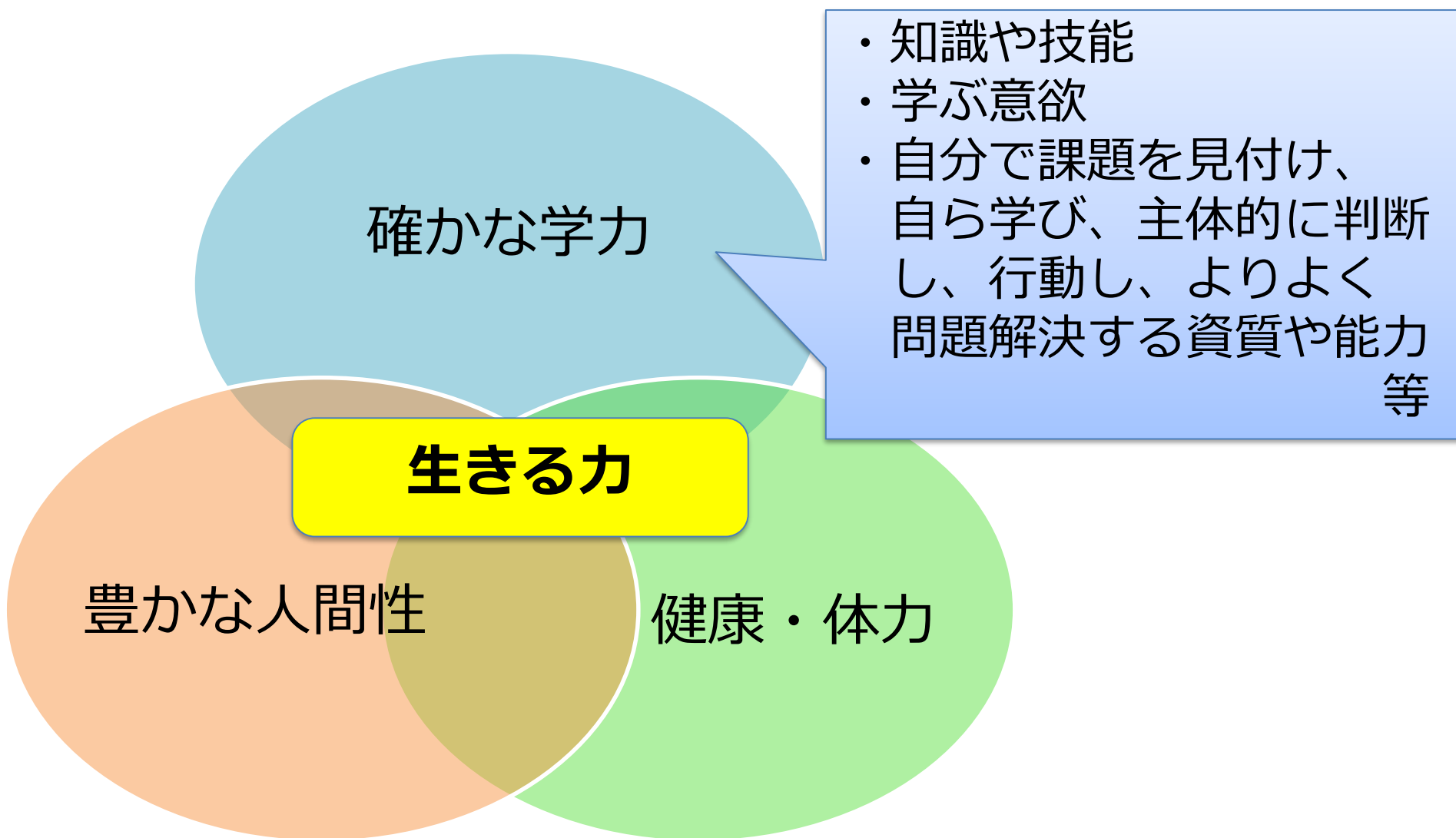
独立行政法人教職員支援機構

チーフ研修プロデューサー 新名主 洋一



独立行政法人教職員支援機構

# 「生きる力」と「確かな学力」



# 「確かな学力」を育むために

- ・ **基礎的・基本的な知識及び技能**を確実に習得させる。
- ・ 基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な**思考力、判断力、表現力等**を育む。
- ・ **主体的に学習に取り組む態度**を養う。

各教科等の  
評価の観点

||  
授業

- ・ 個性を生かし多様な人々との**協働を促す教育の充実**に努めること。
- ・ 児童の発達段階を考慮して、児童の言語活動など、**学習の基盤をつくる活動を充実**する。
- ・ **家庭との連携**を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮すること。

# 個別最適な学び

学習者側の視点



個別最適な学び

II

個に応じた指導

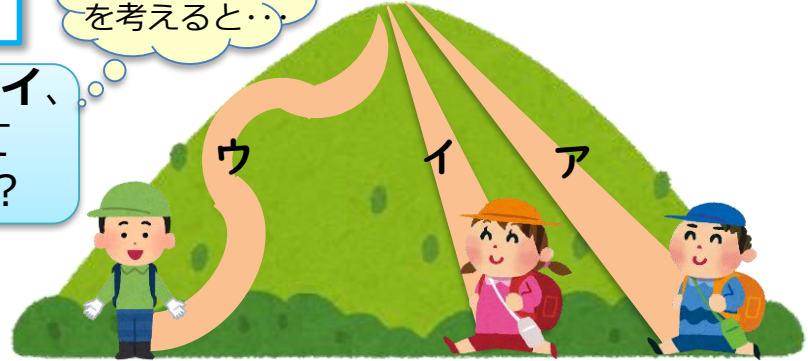


教師側の視点

## 指導の個別化

Aさんはア、Bさんはイ、Cさんはウから登ってみてはどうでしょう？

それぞれの能力を考えると...



C

B

A

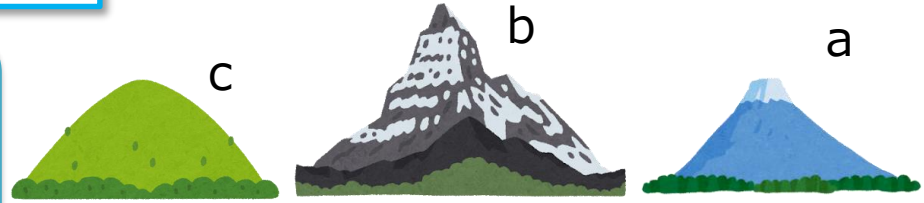
ゆっくり登りたい

速く登りたい

マイペースで登りたい

## 学習の個性化

Aさんはa、Bさんはb、Cさんはcに登ってみてはどうでしょう？



C

B

A

もう一度、別なルートで登りたい

もっと高い山に登りたい

前より少し高い山に登りたい



# 「個別最適な学び」実現のために

児童の  
実態把握

- ・ 児童の願いや思い
- ・ 資質・能力を見取る力
- ・ 学習内容の理解度

学習評価  
コミュニケーション

意欲をもって  
取り組めるよう



具体的  
手立て

- ・ ICT機器の活用
- ・ アプリケーションの利用
- ・ 動画の活用
- ・ ドリル教材の活用
- ・ コンテンツの利用

指導法の  
豊富さ



# 協働的な学び

## 協働的な学び

- ・ 指導計画の作成
- ・ 実際の指導



グループで

探究的な学習  
体験活動 等

## 多様な他者との協働



多様な考えが  
組み合わせさり、  
よりよい学びを  
生み出す



体験活動で



多様な人々と



地域で



異学年で



学級経営の充実

一人一人の  
よさ・可能性





# 主体的・対話的で深い学び

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること

## 【主体的な学び】の視点

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。



主体的な学び  
対話的な学び  
深い学び

学びを人生や社会に  
生かそうとする  
学びに向かう力・  
人間性等の涵養

生きて働く  
知識・技能の  
習得

未知の状況にも  
対応できる  
思考力・判断力・表現力  
等の育成



## 【対話的な学び】の視点

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。



## 【深い学び】の視点

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。



# 教科横断的な学習

(例)

国語

算数

体育

音楽

道徳

総合的な学習  
の時間

学習内容の関連

計算

言語能力の育成

情報活用能力の育成

問題発見・解決能力の育成

環境教育の内容

食に関する教育の内容

● = 重点的に扱う教科等

# 家庭との連携



家庭学習（宿題）



- ・ 漢字の書き取り
- ・ 計算ドリル



- ・ 理解度に応じた課題の出し方
- ・ ミニ自由研究

基礎的・基本的な知識の定着

個別最適な学び

主体的・対話的で深い学び

意図やねらいの説明



提出

指導

# おわりに

学力向上のために・・・



まずは日頃の授業の充実を



指導力向上のための努力を

学び続ける教師

